

「禅の里」まちづくりとは

永平寺正門に続く参道・・・今昔

永平寺正門(総門)に続く参道。この新道は、昭和5(1930)年に実施された2祖孤雲懷奘の650回忌に向けて整備された道路である。

僧侶が立っている橋は半杓橋。「半杓の水も児孫のために川へと戻された」という道元禅師の遺徳にちなんで名づけられた。



参道の両脇には20数軒のみやげ物店や飲食店が立ち並んでいる。手前の半杓橋は、永平寺有料道路に向かう道路に沿って右側が広げられた。

平成23(2011)年の“にぎわい創出事業”において店舗の外観統一や参道・町並みの整備が行なわれた。

にぎわい創出事業による景観整備の一例



道路際に植栽を設けて・・・



店構えと看板に木を使って・・・



こんなに町並みが変わったよ！
来訪者の方は「すてきになったね！」ってほめてくれたよ。



店構えを変えてお土産ものも充実・・・

